

# 通学路旗振り誘導ガイド

南第四小学校PTA みまもり部



## 子どもたちの 特性

- 大人よりも視野がせまく、目の高さも低い  
ため、大人が見えている危険が子ども  
には見えていないことが多い。
- 子どもの発達段階によって、危険予測  
の能力や危険回避能力に差がある



**周囲の大人のサポートで  
子どもたちの交通事故を未然に防ぎましょう**

# 誘導時の お願い



## 安全な服装

- 車から見やすい、目立つ服装
- 動きやすい靴
- 雨の日はレインコート着用
- 乳幼児は現場に連れて行かない

## 大きく、はっきりと

あいまいな動作はわかりづらく、大変危険です。自信をもって、わかりやすく、大きく、はっきり、てきぱきと行いましょう



## あわてない

自動車が並んでしまったり、子どもがたまってしまっても、あわてずに行動。児童の安全が第一です。



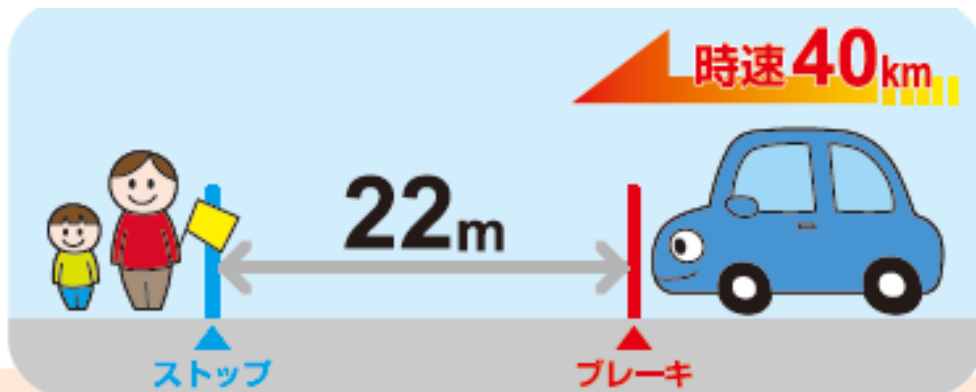
## 自分の身も守る

- 車道には出ない
- やむを得ず車道に出る場合は、自動車の脇を通り抜けてくるバイク・自転車に注意

## 誘導者の 立つ位置



- 歩行者や自動車の妨げになる場所には立たない
- 看板や電柱の陰になる場所を避ける
- 車道には出ない



- 時速40Kmで走る自動車が止まるには、約22mの距離が必要
- 自動車が止まるために十分な距離があること確認しましょう

# 横断旗の 使い方①

子どもを待たせるとき



子どもが横断したり飛び出したりできないように、旗を地面と水平に持ちます。

子どもが歩道ギリギリの所で待っていたら「危ないから、ちょっと下がって待とうね」と声をかけてください。



# 横断旗の 使い方②

車に止まってもらうとき

## 自動車に指示をしない



横断旗には車を止める強制力はありません。

## 大型車は止めない



大型車の後続車が前方を確認できず衝突したり、横断中の子どもに気付かずに大型車を追い越して事故につながる可能性があります。



① 左右の安全を確かめ



② 旗をとつぜん道路に出さず、いったん頭上上げて運転手に合図します。



③ 左手を使って、子どもが飛び出さないように防ぎます。

# 横断旗の 使い方③

横断させるとき

## 呼吸を合わせて



二人一組で行う場合は、子どもの待っている側が主導権を持ち、旗を動かすときは声で合図するなどして、呼吸を合わせましょう

## 信号に従う



信号のある横断歩道では信号に従いましょう。青の点滅信号（または黄色信号）で子どもを横断させてはいけません。



① 自動車が止まってくれたら、左右の安全をもう一度確かめます。

※できれば子どもと一緒に左右の安全を確かめましょう。

② 旗を道路に出して、子どもを渡らせます。



③ 横断するときには、子どもに手を上げるように指導をお願いします。

# 横断旗の 使い方④

子どもが横断し終わったら



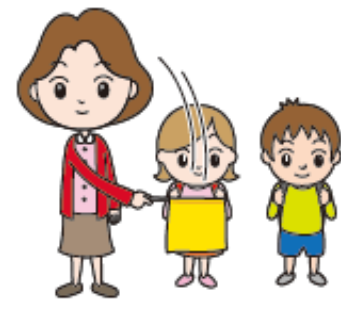
① 子どもが渡りきったら、左手で横断歩道をふさぎ、後から来る子どもを止めます。

## 感謝の気持ちを持つ



朝の出勤時間は、運転手にとっても貴重な時間です。協力してくれた運転手に、会釈するなど感謝の気持ちを伝えましょう

② とつぜん旗を戻すと子どもにぶつかる恐れがあるので、旗をいったん頭上に上げてから元に戻します。





# 作成に あたって

本ガイドをお読みいただき旗振りボランティアへ  
ご参加ください。

なお、本ガイドに関するお問い合わせは  
「南第四小学校PTA みまもり部」  
までお願いいたします。

<本ガイドは下記を加工して作成しました>

通学路見守りハンドブック      神戸市西区役所

<https://www.city.kobe.lg.jp/k25836/kuyakusho/nishiku/bosai/anzenanshin/02koutuuanzen.html#mimamori>

※神戸市ウェブサイト利用規約

<https://www.city.kobe.lg.jp/a57337/homepage/rule.html>

<一部のイラスト>

いらすとや <http://www.irasutoya.com/>